

認定 NPO 法人 IIRS 第 10 回可視化技術ワークショップ
『イノベーションを牽引する企業研究・開発の現場
—画像がもたらす研究開発の新展開—』

ライフサイエンスの分野では、電子顕微鏡技術や画像処理・解析法は、高分解能化に加え、生物のもつ多様な構造を捉え、また、液中での構造を捉えることを目指して開発されてきた。試料作製法等で生み出されるアーティファクトをみる力の必要性を含め、得られた画像をどのように見取るかもまた、重要な技術といえる。これらの技術は、産業界、特に、日本が強みをもつ材料分野において材料開発を支える解析・分析のための基盤技術として利用されるようになってきている。

こうした現状に鑑み、総合画像研究支援 (IIRS) では、日本の先端企業にお集まり頂き、開発現場での微細形態科学の応用 (利用方法等) について報告頂くこととした。これを通して、電子顕微鏡、画像処理・解析方法の目指すべき方向性について改めて考える良い機会となることを期待している。

日時 : 2016 年 11 月 12 日 (土) 13:00~18:00

ワークショップ : 13:00~16:30 アカデミックサロン (意見交換会) : 16:30~18:00

参加費 : 非会員 3,000 円、アカデミックサロン 2000 円 (当日受付にてお支払い下さい)

学生は無料

場所 : [東京大学 武田先端知ビル 5 階 武田ホール](#)

共催 : 日本顕微鏡学会生体解析分科会

プログラム

- 13:00~13:05 開会の挨拶 九州工業大学 安永 卓生
- 13:05~13:45 再生医療用の足場材料リコンビナントペプチドの開発と応用
—写真感光材料で培った技術の応用展開—
富士フィルム再生医療研究所 吉岡 康弘
- 13:45~14:25 画像解析を用いた顕微鏡画像の各種評価と機能性 (ポリマー構造体等の評価)
東レリサーチセンター形態科学研究部 中村 一哉
- 14:25~15:00 休憩
- 15:00~15:40 凍結法を活用した電子顕微鏡による美味しさの評価
—より美味しい乳製品作りを目指して—
雪印メグミルク(株)ミルクサイエンス研究所 神垣 隆道
- 15:40~16:20 製品開発における電子顕微鏡の利用について
帝人(株)構造解析センター 広瀬 治子
- 16:20~16:30 総合討論

※ 併設で、商業展示がございます。新製品情報などをご覧ください。